



7月、国連で毎年開催される閣僚級の会議であるHLPFに、日本から岡本外務大臣政務官ほか関係者が参加。16日夜には国連本部において日本政府主催レセプションを開催し、2030年に向けて諸外国と共に民間企業や市民団体を始めオール・ジャパンでSDGs推進に取り組む姿勢を発信。『拡大版SDGsアクションプラン2018』の三本柱に基づく、本年のHLPFにおける我が国のSDGsに関する主な取組は次のとおり。

日本政府主催レセプションの開催

2025年大阪・関西万博誘致を通じた日本のSDGsの取組を発信

日本政府主催レセプションでは、岡本外務大臣政務官、吉村洋文大阪市長、二宮雅也経団連行動・CSR委員長をはじめ、我が国の関係省庁、民間企業、市民団体等、日本でSDGs推進に取り組む広範な機関・団体の協力を得つつ、スピーチ・映像・ブース等を通じて2025年大阪・関西万博の魅力を印象づけるとともに、SDGs推進に向けた日本のイニシアティブを発信。

I. SDGsと連動する「Society 5.0」の推進

STI for SDGs ロードマップの策定作業に貢献

第3回STIフォーラムの共同議長を務めた星野国連代次席大使及びサンドバル・メキシコ次席大使が同フォーラムの内容を報告。特にSTI for SDGsロードマップへの取組や新技術の活用とそれにより生じるデジタル格差等の課題について意見交換を実施。

II. SDGsを原動力とした地方創生、強靱かつ環境に優しい魅力的なまちづくり

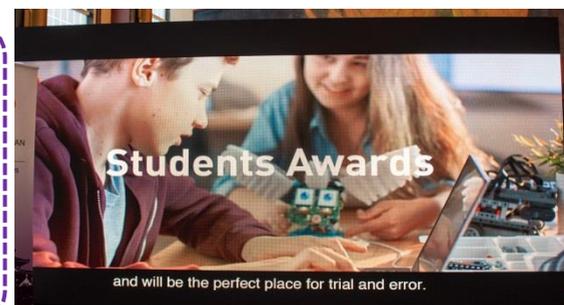
日本の地方自治体のSDGsに係る取組を発信

SDGs未来都市に選定された静岡市や北九州市がHLPFの機会に開催された特別イベントにおいてそれぞれの地方都市におけるSDGs達成に向けた取組を発信。

III. SDGsの担い手として次世代・女性のエンパワーメント

次世代・女性のエンパワーメントに関する日本の取組を発信

G20とSDGsに関するパネルディスカッションに参加し、『拡大版SDGsアクションプラン2018』の三本柱に基づくSDGs実現に向けた日本の取組を発信。特に、来年のG20・TICADの開催国として、SDGsの担い手である次世代と女性のエンパワーメントについて、日本の経験・強みを活かした「人づくり」に関して国際社会でリーダーシップを発揮していく決意を改めて表明。また、同じくパネルとして参加したY20との間で、SDGs実現に向けた次世代の取組について意見交換を実施。



Students Awards

and will be the perfect place for trial and error.